

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 60249498 ✓
PUBLICATION DATE : 10-12-85

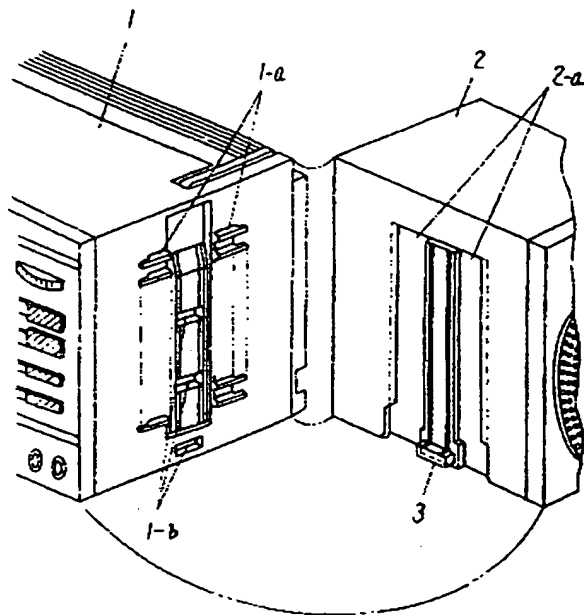
APPLICATION DATE : 25-05-84
APPLICATION NUMBER : 59105837

APPLICANT : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD;

INVENTOR : TAKAYAMA KIYOSHI;

INT.CL. : H04R 1/02 G11B 33/12 H04R 1/06

TITLE : SPEAKER BOX CONNECTING DEVICE



ABSTRACT : **PURPOSE:** To connect speakers without cords by forming a rib having a detaining part in the outside end part of the side face of one of cabinets, which should be connected to each other, as one body and fitting a recessed groove, which is formed on the other cabinet, to said rib.

CONSTITUTION: In case of connection between a device body cabinet 1 and a speaker box cabinet 2, groove parts 2-a provided on the side face of the speaker box cabinet 2 are fitted to ribs 1-a, which are provided on the side face of the device body cabinet 1, by sliding. At this time, lock pieces 3 are stored in the speaker box cabinet 2, and lock pieces 3 are moved and are fitted to plural through holes 1-b of the device body cabinet 1 after the speaker box cabinet 2 is fitted completely to the device body cabinet 1. Thus, connection terminals in the side of the device body cabinet 1 and those in the side of the speaker cabinet 2 provided in lock pieces 3 are pressed and connected to each other.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-249498

Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和60年(1985)12月10日

H 04 R 1/02

1 0 2

Z-7314-5D

G 11 B 33/12

N-7177-5D

H 04 R 1/06

H A A

7314-5D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 スピーカボックス接続装置

⑯ 特 願 昭59-105837

⑰ 出 願 昭59(1984)5月25日

⑱ 発 明 者 高 山 清 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地

⑳ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

スピーカボックス接続装置

2、特許請求の範囲

本体キャビネットの側面外端部に一体形成したそれぞれ係止部を有する複数のリップにスピーカボックスキャビネットの側面に形成した凹溝をスライド可能のように嵌合することにより両キャビネットを互いに結合し、かつ上記いずれか一方のキャビネットの側面に設けたロック片を他方のキャビネットの側面に形成した複数の貫通孔のいずれかに挿入することにより本体キャビネット内に設けたプリント配線基板上の接続端子の凹溝のいずれかに嵌合し、上記ロック片に設けた接続端子と接続するように構成したことを特徴とするスピーカボックス接続装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

クスを分離できるようにした音響機器のスピーカボックス接続装置に関する。

従来例の構成とその問題点

最近、ラジオ受信機、ステレオ装置において、ラジオ受信回路やステレオ回路等を収納した機器本体とスピーカを収納したスピーカボックスとをそれぞれ別々に形成し、これらを着脱自在に結合したものが見られるようになって来た。

ところが、従来より用いられているスピーカボックス分離タイプのラジオ受信機、ステレオ装置では機器本体とスピーカボックスとを互に着脱自在に結合する結合装置が比較的複雑な構成のものであり、しかもその結合状態が比較的がたつきの多いものであったり、また、スピーカボックスを任意の位置で本体キャビネットに装着しても接続端子との接触が不安定なものであった。

発明の目的

本発明は、比較的がたつきの少ない結合状態を

るものである。

発明の構成

本発明のスピーカボックス接続装置は、互に結合する一方のキャビネットの側面外端部にそれぞれ係止部を有するリブを一体に形成し、他方のキャビネットに形成した凹溝を上記リブに嵌合して上記他方のキャビネットを上記一方のキャビネットに任意の位置で着脱自在に取付けられるように構成したものである。

実施例の説明

第1図乃至第4図は本発明のスピーカボックス接続装置における一実施例を示すものであり、図中、1はラジオ受信回路、テープレコーダ用メカニズム等が内蔵されている機器本体キャビネット、1-aは本体キャビネット1の側面外端部に一体形成した複数のリブ、1-bは本体キャビネット1の側面に形成した複数の貫通孔、2はスピーカボックスキャビネット、2-aはスピーカボックスキャビネット2の側面に設けた凹溝であり、本体キャビネット1に設けたリブ1-aが嵌合され

る。3はロック片、4はロック片3に装着したスピーカボックス2を本体キャビネット1に電氣的に接続するための接続端子、5は本体キャビネット1側の接続端子、6は本体キャビネット1側のラジオ受信回路等を有するプリント配線基板、7はロック片3を装着するシャーン、8はロック片3のクリック用鋼球、9はクリック用コイルバネ、10は本体キャビネット1とスピーカボックスキャビネット2の分離時のコード利用による接続用端子である。

以上のように構成された本実施例のスピーカボックス接続装置において、まず、機器本体キャビネット1に複数の凹溝を設けた接続端子6を有するプリント配線基板6を装着する。この時、接続端子6の各凹溝は本体キャビネットの複数の貫通孔1-bの位置に配置する。次にスピーカボックスキャビネット側接続端子4をロック片3に装着し、そのロック片3をシャーン7に鋼球8、コイルバネ9を介して取付ける。この時、シャーン7にコード用接続端子10も装着する。次に準備済

みシャーン7をスピーカボックスキャビネット2に装着し、接続端子4とコード用接続端子10をスピーカに配線する。以上で本体キャビネット1、スピーカボックスキャビネット2各々の準備は完成する。本体キャビネット1とスピーカボックスキャビネット2の結合時、本体キャビネット1の側面に設けたリブ1-aにスピーカボックスキャビネット2の側面に設けた凹溝2-aをスライドさせて嵌合する。その時、ロック片3はスピーカボックスキャビネット2内に収納して置く。スピーカボックスキャビネット2を完全に本体キャビネット1に嵌合させると、次にロック片3を移動させ、本体キャビネット1の複数の貫通孔1-bに嵌合させると同時に本体キャビネット1側の接続端子5の凹溝に嵌合する。これにより、本体キャビネット1側の接続端子5はロック片3に設けた接続端子4に圧接して接続される。

発明の効果

器本体キャビネットの結合と同時にコードレスで接続することができ、簡単な構成で機器の商品価値を高めることができる。

4、図面の簡単な説明

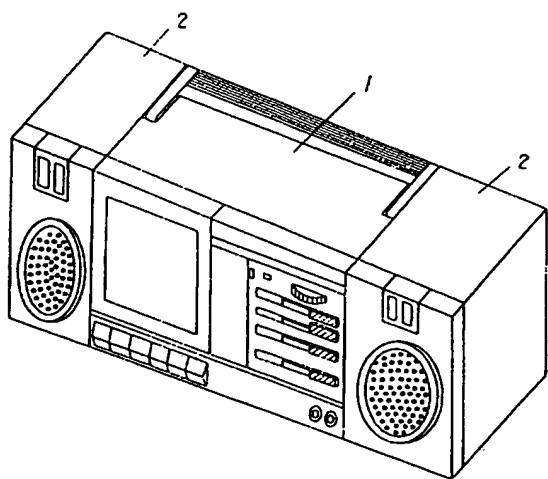
第1図は本発明のスピーカボックス接続装置の一実施例を示す外観斜視図、第2図は同装置の分解斜視図、第3図は同装置の部分断面図、第4図は同装置の要部分解斜視図である。

1……機器本体キャビネット、2……スピーカボックスキャビネット、3……ロック片、4、5……接続端子、1-a……リブ、1-b……貫通孔、2-a……凹溝。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

特開昭60-249498(3)

第 1 図



第 2 図

